

耐
寒
剤

耐寒剤

セントラル工業株式会社

シーアイシー耐寒剤

ホルムアルデヒド放散等級区分

モルタル・コンクリート用

F☆☆☆☆登録商品

(社)日本建築仕上材工業会
登録番号0409039



特徴

本材の混入によりモルタル・コンクリートは、氷点降下の作用で不凍性を帯び、凍結を防止し完全に硬化します。また、硬化が促進され、併せて初期強度も増加しますので、厳寒中でも一日中工事が可能となり能率を高めめます。

効力と特徴

- ①セメントの練り水に混入するだけで、防水早強となります。
- ②予想される最低気温により使用量を適宜、水にて調整できます。
- ③モルタル、コンクリートの初期強度を20～30%増強致します。
- ④各種のセメントに応用でき、荒壁の耐寒にも有効です。

使用法

予想される最低気温によりセメント重量の2.5%～10%の範囲で、練り水に希釈してご使用ください。

予想最低気温による使用法

予想最低温度	セメント重量に対する%	標準使用量	
		モルタル1m ³ (セメント500kg)	生コン1m ³ (セメント300kg)
-5°Cまで	2.5 %	12.5 kg	7.5 kg
-10°Cまで	5 %	25 kg	15 kg
-10°C以下	10 %	50 kg	30 kg

18kg缶の施工量

予想最低温度	セメント重量に対する%	モルタル15mm厚		コンクリート (セメント300kg/m ³)
		調合比1:2	調合比1:3	
-5°Cまで	2.5 %	約66m ² (1.0m ³)	約92m ² (1.4m ³)	約2.4m ³
-10°Cまで	5 %	約33m ² (0.50m ³)	約46m ² (0.70m ³)	約1.2m ³
-10°C以下	10 %	約17m ² (0.25m ³)	約23m ² (0.35m ³)	約0.6m ³

〈ご注意〉 北面、南面向き等施工箇所により使用量を調整してください。
耐寒剤入りモルタル・コンクリートの練り置きはしないでください。

性能試験 (財)建材試験センターにおいて測定

①セメント凝結試験

JIS R 5201(セメントの物理試験方法)8に準じた。
但し、練り混ぜ後供試体を温度0°Cの恒温槽に保管し測定した。

試験項目		耐寒剤6%混入	無混入
凝結時間 (時-分)	始発	1 - 54	6 - 40
	終結	2 - 44	9 - 18

②強さ試験

JIS R 5201(セメントの物理試験方法)の10及び11に準じた。
但し、水量はフロー値 170 ± 5 で調整した。また、供試体は、成形後ただちに温度-10°Cの恒温箱内で24時間養生した後脱型した。
その後、温度20°C、相対湿度90%以上湿気箱内で24時間養生した後脱型し、以後試験材齢まで20°Cの水中で養生した。

試験項目		耐寒剤6%混入	無混入
曲げ強さ (N/mm ²)	材齢3日	4.7	4.0
	材齢7日	6.6	5.1
	材齢28日	8.1	6.6
圧縮強さ (N/mm ²)	材齢3日	25.1	17.1
	材齢7日	37.6	23.8
	材齢28日	52.8	37.9

③長さ変化

JIS A 1129-1(モルタル及びコンクリートの長さ変化試験方法)に準じた。
但し、供試体は強さ試験と同様に成形し、その後24時間で脱型した。
脱型後基長し、温度20°C、相対湿度 $60 \pm 5\%$ の試験室で保存した。

試験項目	耐寒剤6%混入	無混入
長さ変化(収縮率)%	0.080	0.058

MEMO

セントラル商品



CIC防水剤 18kg・9kg・4.5kg・1.8kg
モルタルの防水・防湿用



CIC急結剤 18kg・9kg・4.5kg・1.8kg
セメントの急硬止水用



セントラルエース(無塩耐寒剤) 18kg
低温時のコンクリート・モルタルの凍結防止用、セメントの硬化促進用



CIC耐寒剤 18kg
低温時のコンクリート・モルタルの凍結防止用、セメントの硬化促進用



CIC接着剤 18kg・4.5kg・1.8kg
モルタル接着増強用



CIC止水剤 20kg・4kg
随道・地下水槽等の止水用



CIC剥離剤万能型 200L・18L
(木枠・樹脂用剥離剤もごさいます)
木製・銅製両用の剥離剤

■ その他 ■

Cコートハイパー (7.5㎡用)
(ウレタン塗膜防水剤・1液)
15kg グレー

Cコート (10㎡用)
(ウレタン塗膜防水剤・2液)
6kg(主剤)・12kg(硬化剤) グレー



セントラル工業株式会社

〒335-0031
埼玉県戸田市美木4-5-15
TEL(048)424-0011
FAX(048)424-0013
ホームページ <http://www.cic1999.com>
E-メール info@cic1999.com

PL法に基づく記載

用途	●セメント混和剤(セメント関連以外には、絶対に使用しないでください)
取り扱い上の注意事項	●コンクリート中に含まれる塩化物総量の規制に該当する場所での使用は避けてください。鉄筋腐蝕の要因の一つとなります。 ●飲まないでください。 ●他の容器(ジュース・コーラ等のビン、缶類)に移し変えると誤飲することがありますので、ご注意ください。 ●目に入ると炎症を起こすことがあります。取り扱う際は保護眼鏡等を使用する等、目に入らないようにしてください。 ●皮膚に触れると炎症を起こすことがあります。取り扱う際は保護手袋(ゴム手袋等)を使用する等、皮膚に触れないようにしてください。 ●子供の手の届かない所に置いてください。 ●使用する際は、標準使用量を厳守してください。
応急処置	●目に入った場合は、ただちに清浄な水でよく洗眼し、目薬をさしてください ●皮膚に付着した場合は、石鹼水および清水で十分に洗い流してください ●飲み込んだ場合は、ただちに吐き出すか多量の微温水を飲んでください ※いずれの場合も症状によって医師の診断を受けてください。
保管方法	●凍結・直射日光を避け、屋内で保管してください。 ●他の容器に小分けして保管しないでください。
廃棄上の注意	●都道府県知事許可を受けた産業廃棄物処理業者に委託して処理してください。

このカタログの記載内容は2010年4月現在のものです。製品改良等によりことわりもなく仕様変更をすることがありますのでご了承ください。カタログ記載の数値は、実際の現場での結果を保証するものではありません。

特約店